

## 「第10回アジア・太平洋エコビジネスフォーラム」の開催について

本市では、産業と環境が調和した持続可能な都市モデル形成を目指して、国連環境計画（UNEP）との連携により、市内企業の優れた環境技術や本市の環境保全の経験を活かし、工業化途上の都市の環境対策や環境配慮への国際貢献を推進しています。今年度も先進的な環境技術・戦略の情報交換の場として、昨年2月に開設した「環境総合研究所」を起点としたアジア諸国との国際的なネットワークの構築をコンセプトに、第10回アジア・太平洋エコビジネスフォーラムを、川崎国際環境技術展2014と一体的に開催します。

- 1 期 間 2014年2月12日（水）～2月14日（金）
- 2 会 場 [12日] 環境技術関連施設見学(海外招聘者のみ)  
[13日] 川崎生命科学・環境研究センター（L i S E）1階会議室  
[14日] 川崎市市民ミュージアム映像ホール
- 3 主 催 川崎市
- 4 共 催 国連環境計画 国際環境技術センター（UNEP IETC）
- 5 協 力 NPO 法人環境文明 21、NPO 法人産業・環境創造リエゾンセンター、公益財団法人 川崎市産業振興財団
- 6 後 援 環境省、経済産業省、独立行政法人 国立環境研究所(NIES)、イクレイ日本（ICLEI）、公益財団法人 地球環境センター（GEC）、公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）、一般財団法人 日本環境衛生センター（JESC）
- 7 参加者 UNEP IETC、瀋陽市(中国)、ペナン（マレーシア）、バンドン（インドネシア）などアジア・太平洋地域の都市、環境省、独立行政法人 国立環境研究所(NIES)、公益財団法人 地球環境センター(GEC)、公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）、一般財団法人 日本環境衛生センター(JESC) 等
- 8 プログラム <英語、中国語同時通訳あり>
  - 2月13日（木） 9：30～17：10
    - セッション1：二国間クレジット制度（JCM）の取組について  
コーディネータ：川崎市環境総合研究所都市環境課プロジェクト担当課長 荻原 朗
    - セッション2：川崎市と瀋陽市の大気環境の研究連携について  
コーディネータ：川崎市環境総合研究所長 牧 葉子
    - セッション3：エコタウンからのアジア環境イノベーションに向けて  
コーディネータ：国立環境研究所 社会環境システム研究センター長 藤田 壮
    - セッション4：UNEPプロジェクトについて  
コーディネータ：UNEP-IETC企画官 ムシタク・アハメド・メモン
  - 2月14日（金） 14：00～16：30
    - 主催者挨拶：川崎市長 福田 紀彦（14:00-14:10）
    - 特別講演：UNEP-IETC所長 スレンドラ・シュレスタ
    - セッション5：アジアの都市の環境への取組について  
コーディネータ：川崎市国際環境施策参与 末吉 竹二郎

問合せ先

川崎市環境局環境総合研究所事業推進課

電話：044-276-9118